

平成28年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：温暖化対策課
 担当名：計画制度・排出量取引担当
 内線：3034 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B10	温暖化対策計画・排出量取引制度推進事業費			一般会計	総務費	環境費	環境保全推進費	事業活動地球温暖化対策費	
事業期間	平成22年度～	根拠法令	埼玉県地球温暖化対策推進条例 埼玉県地球温暖化対策に係る事業活動対策指針			戦略項目	09 新エネルギー埼玉モデルの構築		
						分野施策	040201 環境に配慮した産業社会の構築		
1 事業の概要			5 事業説明						
地球温暖化対策計画制度やエコアップ認証制度を導入し、計画書の審査や指導を通じて、着実なCO2の削減を進めている。 また、エネルギーを多量に使用する事業所等に対して本県独自の目標設定型排出量取引制度を導入し、CO2の効果的な排出量削減に努めている。 予算執行の節減による減 (1) 条例施行費 △ 1,696千円 (2) 目標設定型排出量取引制度 △ 797千円 (3) エコアップ認証 △ 55千円 (4) 省エネ普及啓発費 △ 548千円 (5) 計画書・報告書審査費 △ 648千円			(1) 事業内容 ア 条例施行費 4,582→2,886千円 制度や計画書作成方法の説明会開催、事業所立入調査(直営30件) イ 目標設定型排出量取引制度 6,917→6,120千円 トップレベル事業所の認定(5事業所)、目標達成に向けた文書指導(600件)、東京都と連携した検証主任者講習会の開催(6回) ウ エコアップ認証 511→456千円 認証審査委員会の開催(4回)、対象事業所の計画書審査 エ 省エネ普及啓発費 5,934→5,386千円 省エネナビゲーターによる省エネ診断(75件)、CO2削減シートの配布(10,000枚) オ 計画書・報告書審査費 28,376→27,728千円 地球温暖化対策計画書の審査(1,250事業所)、検証結果報告書の審査(600件) (2) 事業計画 ア 計画書制度・目標設定型排出量取引制度 第1計画期間の目標達成の確認や排出量取引は、整理期間(平成27年4月～平成28年9月)に集中することが予想される。平成27年度に強化した計画書や報告書の審査体制を一部継続し対応する。 イ その他については、事業を継続することで制度を安定化させ、なお一層の削減対策につなげていく。 (3) 事業効果 地球温暖化対策計画書の提出件数 平成26年度：830事業者、1,226事業所 (4) 補正予算の概要 予算執行の節減による減 △3,744千円						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 普通交付税(包括算定経費) (区分) 企画費 (細目) 環境保全対策費 (細節) 環境保全対策費 (積算内容) 地域の実情に応じた環境保全対策									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×6.5人=61,750千円									
			財 源 内 訳					一般財源	補正後の 予算額
予算額		諸収入							
決定額	△3,744	△300						△3,444	42,576
現計額	46,320	3,550						42,770	